

## 第160期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

やさしさの先にある未来を見つめて



## 株主の皆様へ Top Message

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は2025年3月31日をもって

第160期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

取締役社長

高口 彰



当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、依然食料品やエネルギー価格を中心とした物価上昇が継続し、消費者マインドの下振れ等により実質では個人消費の持ち直しに足踏みが見られ、米国新政権の通商政策の影響も含め、今後の国内景気の下振れが懸念されます。世界経済においては、欧米でインフレ率の鈍化や中央銀行の利下げを受けて個人消費を中心に景気は底堅く推移した一方、米国のトランプ政権による関税の引き上げ、ウクライナや中東での紛争の混迷、中国での長引く不動産不況や労働市場の悪化を受けた景気減速の長期化等先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社は引続き各部門において収益改善に取り組んでおり、当社グループの当連結会計年度の業績は売上高3,407百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益235百万円(前年同期は営業損失67百万円)、経常利益6百万円(前年同期は経常損失44百万円)、固定資産売却益1,271百万円、減損損失493百万円及び事業撤退損360百万円の計上等もあり親会社株主に帰属する当期純利益300百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,417百万円)となりました。

以上の状況を勘案し、誠に遺憾ではありますが、普通株式及びA種優先株式に係る期末配当金につきましては無配とさせていただきます。今後は更なる収益改善に向けて邁進する所存であります。

当社が行っております研究開発につきましては、企業理念に基づき『人と地球へのやさしさ』をテーマにした取り組みを行っております。

個々の研究開発のテーマにより得られた成果から、収益構造の構築ができるかどうかを判断し、多様なカテゴリーの協力会社と連携を図りながら、環境に配慮した次世代を担う新たな技術の開発への取り組みを続けていきます。

今後も株主の皆様方のご期待に沿えるよう、全社一丸となって邁進する所存でございますので、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第160回定時株主総会決議ご通知

2025年6月27日開催の当社第160回定時株主総会において、第160期決算の内容の報告及び以下の決議がなされました。

議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件  
原案通り、承認可決されました。

## セグメント別業績 & トピックス



### 繊維部門

部門別売上高比率

49.6%

前期比0.7% ↗



繊維部門につきましては、売上高1,688百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント損失129百万円(前年同期は133百万円のセグメント損失)となりました。

#### Topics

#### 2025大阪・関西万博に出展

2025大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオンの展示・出展ゾーン」において、5月27日から6月2日まで「共に創ろう、ヒトとモノとデジタルの未来」をテーマに、セルロースナノファイバーを用いた海洋プラスチック代替品である、MAGNATURE®の素材出展を行いました。

また、9月23日から9月29日まで「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」をテーマに、化粧品業界と共同開発した肌を整える繊維である、モイストファイバー®他を出展することが決定しております。



展示イメージイラスト



### 不動産部門

部門別売上高比率

36.4%

前期比△0.6% ↘



不動産部門につきましては、売上高1,240百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益848百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

#### Topics

#### 加古川工場跡地の不動産開発も遂に完成 着々と企業誘致活動へ

加古川工場跡地の不動産開発事業は、2025年2月末を以て、加古川市道帰属手続きを含め、全ての施工が完了となり、都市計画法での検査済証も交付受領いたしました。

当該開発区画の一部は既に売買契約も整い、誘致企業の工場建設工事もスタートしました。今後は、賃貸物件としての企業誘致に向けて、更なる取組みを進めてまいります。





## 食品部門

部門別売上高比率

4.0%

前期比0.5% ↗



食品部門につきましては、売上高135百万円(前年同期比26.0%増)、セグメント損失76百万円(前年同期は80百万円のセグメント損失)となりました。

### Topics

#### 具いり糖質0gのぷるんちゃん麺 2商品を発売!

簡単便利でヘルシーな糖質0gのぷるんちゃん麺シリーズに新たに具いり商品が加わりました。麺、スープ、具材が一体で袋ごとレンジで温め、手軽にお召し上がりいただけます。従来の味付麺より麺の量を増量。1袋でレタス約1.8個分\*の食物繊維が摂れる商品です。和風だしとオニオンスープの2つの味をお楽しみいただけます。

\*レタス1個を約300gとして



## その他部門

部門別売上高比率

10.0%

前期比△0.6% ↘



その他部門につきましては、売上高342百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益5百万円(前年同期は104百万円のセグメント損失)となりました。

### Topics

#### 太陽光発電パネル洗浄による 発電能力の維持・回復

加古川工場では環境設備として、工場建屋の屋上を活用した太陽光発電設備を2013年より設置・運用しており、合計7,200枚の太陽光パネルで年間1MW以上の発電をしております。長年の使用により減少傾向であった発電能力を維持・回復するため、2024年6月、試験的に1,800枚のパネル洗浄を行いました。検証の結果、当該パネルにおいて10~15%の発電能力の回復が確認されました。今後は残りのパネル洗浄を行うことにより、収益の改善とともに、継続してゼロカーボンの推進に貢献してまいります。



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 (2025年3月31日現在)
(資産の部) 流動資産	1,971
固定資産	13,846
有形固定資産	12,941
無形固定資産	5
投資その他の資産	899
繰延資産	1
資産合計	15,819
(負債の部) 流動負債	7,857
固定負債	6,043
負債合計	13,900
(純資産の部) 株主資本	1,860
その他の包括利益累計額	58
純資産合計	1,919
負債純資産合計	15,819

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)
売上高	3,407
売上原価	2,021
売上総利益	1,385
販売費及び一般管理費	1,149
営業利益	235
営業外収益	13
営業外費用	243
経常利益	6
特別利益	1,271
特別損失	883
税金等調整前当期純利益	394
法人税、住民税及び事業税	16
法人税等調整額	77
当期純利益	300
親会社株主に帰属する当期純利益	300

## 会社の概況 (2025年3月31日現在)

設立	1917年(大正6年)8月13日
資本金	1億円
主要な事業内容	レーヨン糸・各種混紡糸、各種レーヨン綿、不織布の加工及び販売 各種タオル・生活用品等の製造・販売 食品の製造・加工及び販売 化粧品の製造及び販売、ソフト開発 不動産賃貸・販売、その他
従業員数	106名
主要な事務所	(本社) 大阪市中央区南本町4-1-1 (東京事務所) 東京都中央区八丁堀2-21-11 (加古川工場) 兵庫県加古川市尾上町池田580
主要な子会社	オーミケンシソリューション株式会社(大阪府) 株式会社宇美フーズ(福岡県) 近絹(上海)商貿有限公司(中国)

## 株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	24,000,000株
	A種優先株式	11,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	6,602,459株
	A種優先株式	2,000,000株
株主数	普通株式	4,081名
	A種優先株式	1名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種優先株式	合計	
東洋商事株式会社	572千株	2,000千株	2,572千株	29.92%
龍寶裕子	654	-	654	7.60
丸山三千夫	336	-	336	3.91
株式会社三菱UFJ銀行	294	-	294	3.42
太陽生命保険株式会社	200	-	200	2.32
竹菖板硝子株式会社	200	-	200	2.32
楽天証券株式会社	82	-	82	0.95
村澤勝	73	-	73	0.84
丸山光子	66	-	66	0.77
龍寶惟男	64	-	64	0.74

(注) 1. A種優先株式は、当社定款の定めにより議決権を有しておりません。  
2. 持株比率は自己株式(5,356株)を控除して計算しております。

## 役員 (2025年3月31日現在)

代表取締役社長	高口彰
取締役	大野泰由
取締役	廣田直人
取締役	竹前賢
常勤監査役	近藤武彦
監査役	桑野哲雄
監査役	内本幸宏

(注) 1. 取締役廣田直人、竹前賢の両氏は社外取締役であります。  
2. 監査役桑野哲雄、内本幸宏の両氏は、社外監査役であります。  
3. 取締役廣田直人、竹前賢、監査役桑野哲雄、内本幸宏の4氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	4月1日から3ヶ月以内
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要のある場合はあらかじめ公告して定める日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大阪市において発行する朝日新聞に掲載いたします。 公告掲載アドレス ( <a href="https://omikenshi.co.jp/ir/ir_notice/">https://omikenshi.co.jp/ir/ir_notice/</a> )

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

## (同連絡先)

〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
☎ 0120-094-777(通話料無料)

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。